

堤防拡幅工事現地視察行われる



6 月 10 日(月)利根川左岸拡幅工事の現地視察が行われた。当日の朝は雨模様だったが、視察の時間には雨は上がり無事実施することができた。来賓として衆議院議員の永岡桂子様、古河市長の針谷力様を招き、工事関係者の方々、第 4 地区コミュニティ役員、自治会長、中田地区の方々等、総勢約 50 名の参加で行われた。

栗橋にある利根川上流河川事務所の方から、工事の過程を踏まえた概要説明や堤防を実際に歩きながらの説明、それに対する質疑応答などが行われた。質疑応答では参加者から色々な質問があり活発に意見交換が行われた。

視察や質疑応答の詳しい内容については、2・3 ページの記事にまとめてありますので是非そちらをご覧ください。

(文責：小森谷)



利根川左岸築堤工事の視察会の報告

令和5年度計画による築堤工事の完成を視察しました。

令和6年6月10日、今回の築堤工事区間の完成を視察する会が、針谷力古河市長、永岡桂子衆院議員も参加のうえ開催され、第4地区コミュニティ役員や近隣自治会の住民が参加し、堤防を見学し、国土交通省利根川上流事務所の担当官の説明を聞きました。



今回の工事は、利根川・渡良瀬川合流点より下流の左岸（古河市側）の中田新田地区の堤防を約440メートルの区間にわたって拡幅、かさ上げするものです。

古河市 地域防災訓練行われる

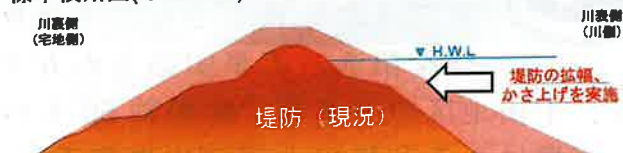
6月30日（日）浸水想定区域内に住んでいる方（第4地区・七小地区）を対象に古河市地域防災避難が行われた。訓練内容は、自家用車避難（第4地区）・バス避難訓練（七小地区）・避難所開設運営訓練・救急救命訓練・防災車両展示等であった。

実際に参加してみて、避難所に到着するまでには、冠水してしまいそうな低い場所を何カ所も通り抜けなければならないので避難経路をよく考えるべきだと感じた。早めの避難こそが大事であろう。

（小森谷）



標準横断面図(イメージ)



堤防に上がってみると、確かに最大1.8メートル（平均1.5メートル）高くなっていることを実感しました。同時にまわりの宅地や農地を見ると、「低いな。」ということも実感しました。

堤防の斜面には説明用に、令和元年の台風19号のときに「水位が当時の堤防のここまできた」の棒標があり、「本当にギリギリだった」ことを知り、愕然としました。



JR利根川鉄橋方面を望む

また、堤防頂部のアスファルト道路の幅もこれまでより3～4倍ほど広がっており、クルマのすれ違いができるほどです。（もちろん、クルマの乗り入れは不可ですが。）

散歩がてら一度行って見てはいかがでしょうか。

余談ながら花火も見やすくなったのかもかもしれません。

見学、説明の後の質問タイムでは、参加者より、

- ① 堤防の厚みが増した分、河川の容積が小さくなったのではないかな？
 - ② 大雨による増水で、新しく盛った土砂が定着するまえに流されてしまう恐れはないかな？
 - ③ 向こう（栗橋）側が高く見えるかな？
 - ④ この区間の他にまだ、低い場所があるかな？
- など、真剣な質問が出されました。



これに対し国交省担当官は、

- ① かさ上げした（堤防が高くなった）分、容積は大きくなっている。
- ② 新しい土砂に特殊な材料を混ぜて、なじみ（定着）しやすい材料にして盛っている。また、河川側の芝は土砂を流しにくくする特別な種類・工法で植えている。
- ③ 同じ高さです。
- ④ 国の予算の問題もあるが、来年度、再来年度と引き続き工事計画がある。という回答でした。

「これで安全、安心」ではない。

また担当官は、「堤防が強化されたと言ってもまだまだ一部であり、すべての区間を強化するには何年もかかります。また、近年は一度に大量の雨が降ることが多く、万一、堤防が壊れた場合、この地域の被害は大変なものになる恐れがあります。油断することなく、避難などの適切な対応の準備は怠らないでください。」とも話しました。

（文責：岩石）

青パト巡回時間変更

青色パトロールの巡回時間を7月から変更することになりました。変更後の巡回時間は午後2時30分から4時30分です。

変更の理由は、今年2月に行われた四小クロバー守り隊との話し合いや、子ども達との交流を通して青パトへの理解が深まったこと、低学年児童の下校に合わせた見守りパトロールのためです。

これからは、青パトの活動内容を見直し、踏切や交差点で降車し見守り、子ども達や地域の皆様と対面しふれあいの場を増やして明るく住み良い町づくりの一助として貢献していきたいと思えます。

青パト会員のみなさまにも今後ともご協力よろしくお願い致します。

（文責：堀江）

「地域住民の安心、安全を目指して」

第4コミュニティの皆様には、平素より消防行政に対しまして深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

古河消防署としても、コロナウィルスの影響により地域交流が縮小していましたが、現在では以前と変わらぬ社会状況となりましたが、現しますので、コロナ禍前同様に消防訓練等を通して少しでも地域のお手伝いをさせて頂きたいと思っております。

さて、近年の気候変動による台風やゲリラ豪雨の影響により降水量が増加している現状であります。特に、この地域は利根川と渡良瀬川の合流地点であり平坦な地形から、水害に対する備えが必要不可欠な地区であり、防災訓練等を通して住民の防災意識の高まりを実感しているところです。

古河消防署も今後来るであろう災害に対し被害を最小限に抑えるためにも、地域住民の皆様と一体となっていかなければならないと思っております。

これからこの地域で安心して暮らすことができるようご協力をお願い致します。

古河消防署長 谷中昭次

特別消火指導員訓練



救助大会訓練
【引揚救助】



救命講習



救急車適正利用にご協力を！
救急車をほんとうに
必要な人のために

設置義務です
住宅用火災警報器



編集後記

いつもご愛読くださりありがとうございます。今月号は第4地区の取り組みに編集員が参加し、感じたことを生かしながら編集しました。是非お読みいただき生活に役立ててくださるとありがたいです。